青森市の隠れた名所、常花志園

ちょっとたんさく

水生植物の宝庫ともされる常花志園（じょうかしえん）
春、花の咲くころがおすすめのスポットです

浜田こ～ぷ委員会＆浪館こ～ぷ委員会（青森市）



＊国道280号線バイパスを青森市から蓬田村・外ヶ浜町方向に進み、信号のある交差点（右手に北中学校）を過ぎて少し進むと、右手に「左堰町会」の看板が見えます。ここを左折し、田んぼの中をまっすぐ進みます

青森市左堰に、隠れた名所といわれる「常花志園」があります。昭和14年から地元の工藤常蔵さん、花さん夫妻が7年かけて完成させ、自分たちの名前をとって名づけたそうです。

一時は荒れていましたが、20年ほど前から地元の左堰町会の方々がボランティアで整備し、管理しているそうです。

青森市から外ヶ浜町方向に向かう国道280号バイパスを進み、右手に左堰町会の看板があるところを左折します。道なりに少し行くと、常花志園の標識があります。広い駐車場があって、すぐ隣が広いため池です。

池の中には半島もあり、しだれ桜や椿がきれいでした。訪れたのは5月で、ソメイヨシノは散っていましたが、ちょうど八重桜が見頃でした。他にも栗やブナなどたくさんの種類の木が植えられ、花壇には水仙などさまざまな花が並んでいました。

園内は一周歩いて回れるようになっていて草刈りがされているのか歩きやすい道です。足もとにも水辺にも、いろいろな花や草があるので、植物にくわしい方が行くと、いっそう楽しいかもしれません。ここは水生植物の宝庫ともいわれているそうです。春になり暖かくなったら、緑豊かなこの場所に花の咲く頃ぜひ出かけてみてはいかがでしょう。

文・工藤まゆみさん


ミツガシワの大群落も見られます

こんにちは

委員一同
これからも頑張ります！

和徳店こ～ぷ委員会
（弘前市）

こんにちは。「和徳店こ～ぷ委員会」です。和徳店は、今では大きなお店に生まれ変わりましたが、昨年の11月まではコープあおもりで一番小さなお店でした。

委員会も4人からスタートしました。小さなお店の小さな委員会の活動の一つとして、お店を利用する組合員さんとの交流、組合員さん同士の交流の場を作ろうという事で、風除室の一角にカフェコーナーを作り、月2回の「こ～ぷカフェ」を開催してきました。

「こ～ぷカフェ」では、コーヒーを飲み、コープ商品の紹介や試食をしながら楽しく話が弾み、毎回楽しみに来てくれる常連さんも増え、すっかり定着していました。

今は委員も6人に増え、お店も大きくなりましたが、「コープ商品の良さを伝える活動と組合員の交流の場を作る活動」というコンセプトを大切に活動していきたいと思っています。「コープのお店は、他のスーパーと違ってあったかくて楽しいね！」と思ってもらえるよう、委員一同頑張りまーす!!

文・三上ひろ子さん



私と生協

強い味方が
裏ごし野菜シリーズと
野菜キューブ

鈴木　咲さん
下北地域
「苫生こ～ぷ委員会」
（むつ市）

私が生協で購入を始めたきっかけは出産でした。里帰りをしなかったため、毎週届く食材は楽しみで、特に、産後はとても助けられました。

子どもが5か月をむかえた頃、離乳食が始まりました。私は自他共に認める料理嫌い。大人の料理でさえ、手際が悪く、味も定まらないのに、未知の世界です。しかも、始めたら最後、途中でやめることはできません。どんなに手間をかけてもさじ1から、何種類も、食べてくれなくても…。そこで現れた強い味方が、裏ごし野菜シリーズと野菜キューブでした。



裏ごしされているので、トウモロコシや枝豆もレンジで温めるだけです。野菜キューブの赤とひき肉で作ったチキンライス風粥はよく食べてくれました。

1歳になった娘の好物は、ドライパックで作ったひじき煮です。沢山たべて大きく育つように、生協には、まだまだお世話になります。



花の季節はいろいろですが…



花がない時期ということで…　これまで掲載したことのない（と思われる）花…　左から、茄子に似た花をつけるイヌホオズキ（犬酸漿／①）、山地の湿ったところに生えるジャコウソウ（麝香草／②）、葉が車状につき、純白の小さな花をつけるクルマバソウ（車葉草／③）、花が蛍の光に例えられたホタルカズラ（蛍葛／④）。中央は、春早く湿地などで見られるエゾノリュウキンカ（蝦夷立金花）

発行　生活協同組合コープあおもり　〒038-0012　青森市柳川二丁目4－22　017-766-1614　FAX017-766-1462
コープあおもりのホームページ《https://www.aomori.coop/》　／ 印刷　㈱サンエイ　017-738-0040